

その他 03

対象疾患:クローン病・潰瘍性大腸炎

【9903】ステラーラ(クローン病・潰瘍性大腸炎)

【投与スケジュール】 初回導入療法のみ

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W	4W	5W	6W	7W	8W	9W
ウステキヌマブ	ステラーラ		260 ~ 520mg※	↓								皮下注

(※適応症・用法・用量)

適応: 中等症から重症の活動期クローン病の導入療法

導入療法の初回に、以下に示す用量を単回点滴静注する。

患者体重	投与量
55kg以下	260mg(2バイアル)
55kgを超える85kg以下	390mg(3バイアル)
85kgを超える	520mg(4バイアル)

維持療法については、本剤初回投与の8週後、ウステキヌマブ(遺伝子組換え)皮下投与用製剤の投与を行う

【注射薬投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
①	生理食塩液 100mL	1本	ルート確保用
②	ステラーラ	260 または 390 または 520mg/body	1時間以上かけて
	生理食塩液 250mL	(ステラーラと合わせて合計 250mL)	
③	生理食塩液 50mL	1本	ルートリンス

※レジメン設定上のデフォルト用量は最大量の4瓶(520mg)/bodyを絶対量として設定

<ステラーラ>

無菌・ピロジェンフリーで蛋白結合性の低いインラインフィルター(ポアサイズ0.2ミクロン)を用いて投与すること

【注意】

(ステラーラ)

- ◆ 調製後は4時間以内に使用すること。
- ◆ 本剤は無菌・ピロジェンフリーで蛋白結合性の低いインラインフィルター(ポアサイズ0.2ミクロン)を用いて投与すること。
- ◆ 他の薬剤と同じ静注ラインで同時注入はしないこと。